HEIWA GAKUEN 平和学園広報

No.76
2023年2月発行

認定こども園　平和学園幼稚園
平和学園小学校
アレセイア湘南中学校
アレセイア湘南高等学校

学校法人平和学園
〒253-0031　神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL:0467-87-0131　FAX:0467-87-0183
https://www.aletheia.ac.jp/

平和を実現する人々は、幸いである／マタイによる福音書5章9節

戦争と平和－非平和から考える平和

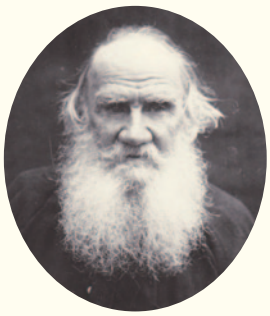
学園長　藤本　朝巳

日々、世界の平和を願う毎日ですが、ロシアのトルストイは『戦争と平和』を描き、民話も残しています。彼の民話集『イワンのばか』に、悪魔が人間を誘惑するという作品があります。

貧しい農夫パホームは農地を望み、畑を次々に買い求めます。支払いが終わると、さらに土地が欲しくなります。ある日、行商人が村に来て、広大な土地を手に入れたと自慢します。パホームがその土地に行って交渉を始めると、土地の長老は「売買方法はただ一つ。日中歩いたところがお前の土地となる。しかし、日没までに出発点に戻れなければ、お前の負けとなる」と告げます。

翌朝パホームは日の出に出発し、歩くうちに欲が出て、正午を過ぎるとあせり出し、とうとう走り始めます。夕方、もう無理と思いながらも走り続けます。日没前間一髪、出発地点に戻るのですが、その場で息絶えてしまいます。死後、彼に必要な土地は畳一枚分ほどの埋葬地でした。人間は裸で生まれ、裸で死ぬのです。私たちは尊い命を失わないために必要な土地で、分け合って生きるべきです。

「非平和」という平和学の観点があるのですが、子どもたちは「友だちと遊ぶこと」「花を見ること」「帰る場所があること」などを平和と考えています。普通に安心して暮らせることが、まさに平和なのです。以前、平和とは「戦争の不在」でした。しかしインドのP.ダスグプタは、おびただしい餓死者を指し「先進国では戦争がなくても平和ではない」と指摘し、一方、J.ガルトゥングは平和を「戦争の不在」ではなく「暴力の不在」と定義したそうです。「平和を実現する人々は、幸いである」（マタイ5章9節）―学園聖句を大切にしたいと思います。



レフ・トルストイ（1828.9.9～1910.11.20）
帝政ロシア時代の作家・思想家。文学のみならず政治・社会にも大きな影響を与えた。代表作『戦争と平和』『アンナ・カレーニナ』他多数。

「平和学」参考文献

『平和創造のための新たな平和教育―平和学アプローチによる理論と実践』、高部優子、他編、法律文化社、二〇二二年

聖書の言葉

『万事を益とする神の情報』

ローマの信徒への手紙8章28節

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、私たちは知っています。」

情報化社会と言われて久しいが、私たちが一日に触れる情報量は江戸時代の一年分、平安時代の一生分であると言われている。情報の渦の中、今や大人顔負けの情報量を、子どもたちの方が簡単に入手できるような時代である。

しかし、人生には知恵という真の情報が必要である。人生の重大事、生きるか死ぬかの岐路に立ちつくすとき、必要な情報は先人の知恵である。聖書は神の知恵の宝庫である。私たちの人生設計を超えて、神の計画がこの世界を支配していることを聖書は今も証言し、神の愛の情報を発信し続けている。苦労と不幸に満ちた人生の中で、一転して喜びへと変える神がおられ、神の愛の最新情報に敏感でありたい。

すぐには事情は好転しないかもしれないが、「万事が益となるように共に働く」神の情報を気にかけながら過ごしたいものである。

学園宗教主任　鳴坂　明人

Heiwa Topics　認定こども園 平和学園幼稚園　Happy are those who work for peace　平和を実現する人々は、幸いである

乳児クラス（1・2歳児）

ヤギがやってきた！

「あと何回寝たらヤギさんに会えるの？」2歳児クラスの女の子は、その日を心待ちにしていました。そして、11月11日。堤にある〝湘南やぎの里〟からお母さんヤギとオスメス1頭ずつの子ヤギが園庭にやってきました。「これ、ほんもののヤギさん？」子どもたちは、目の前のヤギにびっくり。〝湘南やぎの里〟の方から渡してもらった人参をヤギの口元に…。しかし近寄られると少し怖いのか後ずさりします。勇気を出して背中を撫でてみると、ふわふわした感触を想像していたのでしょう。「かたかったよ。」と意外そうに話していました。ほんものと触れ合う体験が、子どもたちに貴重な学びを与えてくれました。

年中組

あきまつり

秋の気持ちのよい穏やかな一日、幼稚園で「あきまつり」を楽しみました。実はこの行事が始まる前、夏休み明けに「お祭りをしたい」との声が上がり、即席の〝おまつりあそび〟が盛り上がりました。「次は、ほんとうのあきまつりだ！」と楽しみに準備してきました。「おばけやしきがやりたい！」「金魚すくい！景品も作りたい！」「的当ては、ぼくたちの好きなロボットを登場させよう！」自分たちの、「やりたい！」と「たのしい！」で溢れるときとなりました。当日のお昼ご飯は、焼きそばと焼き芋の屋台風給食。「次はいつお祭りするの？」とうれしそうに話している年中組の子どもたちでした。

年少組

秋いっぱいの園外保育

「先生！このドングリ見て！」うれしそうに帽子をかぶったドングリを見せてくれる子どもたち。11月下旬、暖かな秋の陽気の中、バスに乗って長久保公園に園外保育に出かけました。普段、自転車や徒歩通園の子どもたちは、初めて乗る幼稚園バスに興味津々。ニコニコの笑顔です。友だちと手をつないで歩き、到着した雑木林の足元は色とりどりの葉っぱが落ちていて絨毯が敷かれているようです。子どもたちは、その感触を楽しむように音をさせて歩いたり、ジャンプしたりしています。そんな葉っぱの陰に隠れたドングリを見つけると宝物を見つけたかのように喜んでいる子どもたちでした。

年長組

海の中にいるみたい

♪やせいのにおいが　ただよってさめが　ぬぼっと　あらわれた～♪　なんの歌だと思いますか？年長組の子どもたちが新・江ノ島水族館に出かけて見たこと・感じたことの感想を集めて作っているオリジナルソングの歌詞の一部です。毎年、1学期に行っていた水族館活動が今年から2学期に実施することになりました。すると、1歳の子どもたちから年中の子どもたちも部分的に参加して幼稚園全体が水族館に。ホールでは年長組の子どもたちが作った海の生きものたちが元気に泳ぎ回り、ほんとうに海の中にいるような感じがします。子どもたちの歌声も響き、見学に来た方々みんなを笑顔にしてくれていました。

Heiwa Topics　平和学園小学校　Happy are those who work for peace　平和を実現する人々は、幸いである

ともにつくる

平和学園小学校は少人数教育を行っています。少人数教育では、何においても一人ひとりの出番が多くなります。全員に主役になる場面が用意され、それぞれが責任をもって考え、行動する機会がとても多いです。一方で、全校児童で取り組む行事もたくさんあります。これも少人数教育の特徴の一つです。みんなで力を合わせ、みんなで心を合わせ、一つのものに向かいつくりあげていく醍醐味を味わいます。そしてそれは一度きりのものではなく、翌年はそれまでに見てきた先輩の姿を思い出しながら、さらに良いものを生み出すべく一人ひとりがまた自分を磨き、そして再びその個性豊かな賜物が寄り集まり一つとなり…それを積み重ねていくのです。今号ではその様子をご紹介します。

自然教室

新年度最初の大きな行事である「自然教室」についてご紹介します。毎年5月に東京YMCA山中湖センターで全校児童での宿泊行事（1年生は1泊2日、2年生以上は2泊3日）を行いますが、コロナ禍のため、今回は3年ぶりの開催となりました。一番のリーダーである6年生でさえも積み重ねがない状態ではありましたが、班長として、最高学年として後輩たちを引っ張っていく姿はとても頼もしいものでした。どの学年の子どもたちも、進級した仲間とともに神様に祈り、ともに過ごしていく中で、より「平和の子」らしくなっていきます。

ある1年生が就寝前にこんなことを言っていました。「神さまに僕たちのお祈りが届くといいな」。そこで「どんなお祈り？」と教員が尋ねると「お祈りが上手になりたいんだ！」「やっぱり平和が一番だよな！」「幸せがいいよな！」と語り合ったそうです。

たった2、3日の宿泊ですが、子どもたちにはとても大きな学びと成長の場となりました。

学芸会

小学校では、2年に1回、学芸会が行われ、劇をはじめ合唱や合奏、ダンスなどが発表されます。学芸会で発表する出し物は、クラス全体で話し合い、決めていきます。そのクラスが大事にしていることや、クラスみんなで力を合わせてつくっていくにはどんなものがよいかなど、様々な視点から担任と子どもたちが模索して決めていきます。ですから、出し物を決めていく過程も大切なプロセスの一つなのです。

今年もまた、1年生から6年生までのクラスのカラーが色濃く反映された出し物が発表されました。どの学年も、本番までの道のりにはドラマがありました。クラスみんなで一つのものをつくり上げていく中で、子どもたち一人ひとりが大きく成長していきました。学芸会を通して子どもたちの心に平和の種がまかれたのです。そこには、神さまの愛に守られて生き生きと学んでいる子どもたちの姿がありました。

平和運動カーニバル

11月の終わり、児童会行事「平和運動カーニバル」を実施できました。「運動会をやりたい！」と願う児童会役員が児童会選挙の公約として掲げ、実現したものでした。児童会で企画立案し、各委員会の協力を得て子どもたちが中心になって準備を進めました。全校対象に競技希望のアンケートをとり種目を決定し、種目ごとの担当が内容やルール、4色の組分けメンバー等も決めました。競技はしっぽとり、障害物リレー、綱引き、ドッジボール、リレー&大漁走り込みと盛り沢山。全競技に全員が参加するので事前練習から大変でしたが、競技担当者だけでなく6年生が中心になりそれぞれのグループをまとめながら楽しく参加できるように動き、行事をつくり上げていました。高学年中心に役割を担い、達成感とともに、どの学年も楽しく参加することができた児童会行事となりました。

Heiwa Topics　アレセイア湘南中学校　The truth(aletheia) shall make you free　真理はあなたたちを自由にする

アレセイアの放課後学習プログラムは英語だけではありません

前号（No.75）で、アレセイア湘南中学・高等学校の放課後英語学習プログラムを紹介しました。今回は英語以外の学習プログラムを紹介します。

本校では、通常の授業のほかに、中学では〝学習クリニック〟、高校では〝GUセミナー〟、さらに中高共通で〝ICTを活用した学習〟が行われています。

通常授業に加えて、なぜそうした放課後学習プログラムが行われているのか、本校がこのような取り組みを始めた背景について述べていきます。

中学生対象

学習クリニック・フォローアップ

◆苦手克服のために◆

中学生の中には、小学校で十分に習得できなかった内容の学び直しがしたい、あるいは日頃の授業の復習がしたいと感じている人は少なからずいます。そんな生徒たちのニーズに応えてくれるのがこの〝学習クリニック・フォローアップ〟です。毎週月曜日の放課後に、英語と数学の補習的授業が受けられます。そこでは、本校卒業の大学生がチューターとして、苦手とする単元をわかりやすく解説してくれます。さらに高校の学習委員が、中学生一人ひとりが自分の学習のつまずきを克服できるように、丁寧にサポートをしてくれています。中学生にとっては、とても心強い先輩サポーターです。

劇団四季ミュージカル「アナと雪の女王」を鑑賞

アレセイア湘南中学高等学校保護者会が、3年に1回、生徒に「本物の劇場」で「本物の舞台芸術」を鑑賞してもらおうと、本格的な劇場公演を企画してくださいます。今年がその年にあたり、全校生徒、教職員そろって、浜松町の劇団四季劇場「春」でミュージカル「アナと雪の女王」を鑑賞しました。

写真は期待に胸を膨らませながら入場していく様子です。

ミュージカルが始まると、生徒たちは、演ずる俳優の迫力ある歌声とダンスに圧倒され、音楽と舞台と映像が創り出す素晴らしい夢の世界に身も心も浸りきっていました。とても幸せな時間を過ごした一日となりました。

ペットボトルキャップ回収 34,744個！

生徒が主体となって様々なボランティア活動を行っている「ドルカス」が、生徒や先生の協力を得て学校で集めたペットボトルキャップを、回収団体へと寄付しました。

集まったペットボトルキャップは34,744個。約860個でポリオワクチン1人分となるので、今回はワクチン約40人分となりました。これまでに回収に協力していただいたキャップの累計個数は187,652個で、ワクチン約218人分です！

普段はゴミとして捨ててしまうペットボトルのキャップですが、きちんと回収すれば、人の命を守るための貴重な資源となります。

どんなに小さなことでも、無駄にせず、人の役に立つものにしたいという願いが込められたこの取り組みにも、アレセイアの生徒たちのあたたかい優しさが感じられます。

Heiwa Topics　アレセイア湘南高等学校　The truth(aletheia) shall make you free　真理はあなたたちを自由にする

学習クリニック・アドバンスト

◆物足りない人のために◆

一方で、日頃の授業に物足りなさを感じている生徒もいます。そうした生徒が参加しているのが、土曜日の午前中にある〝学習クリニック・アドバンスト〟です。そこでは、教科書レベルを超えた問題に挑戦することができます。

高校生対象

GUセミナー

◆大学一般選抜合格をめざす◆

高等学校では、自分の将来を見据え、自分の志望する大学を一般選抜で挑戦する生徒がいます。そういった生徒のために、土曜日や放課後に〝GUセミナー〟と呼ばれる受験対策講座が用意されています。名前のGUは、英語のGrow Up（成長する）の頭文字をとって命名されています。これらの講座は、年間を通じて継続的に学ぶ講座となっています。長期休み中にも、夏季セミナー、冬季セミナー、春季セミナー等が用意されています。

さらに、主に特進クラスを対象として、〝スタディサプリ〟が導入されているので、オンラインで受験対策講座を受講することもできます。

中学・高校共通

AI学習支援システム Monoxer

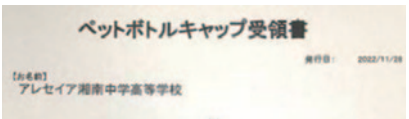
◆学校と家庭をつなぐ学習支援システム◆

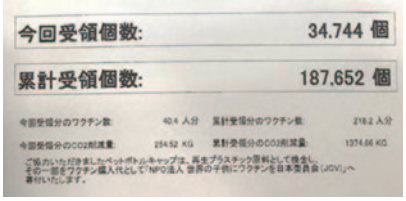
中学、高校生にとって、自分の学習内容のどこが十分でないのかという把握は、案外難しいものです。

本校では、中学・高校ともに、家庭学習の一環として、〝AI学習支援システムMonoxer（モノグサ）〟を導入しています。AI（人工知能）であるMonoxerが、各教科の単元ごとに小テストを実施・採点し、生徒が授業で理解できなかった学習内容を洗い出してくれます。その結果に基づいて、生徒一人ひとりの必要に応じてオーダーメイドの課題を作成して、学習をサポートしてくれるのです。

アレセイアでは、生徒たちがそれぞれのニーズに応じて、人と関わりながら学ぶ、オンラインを活用して学ぶ、AIのサポートを受けながら学ぶなど、自分に一番合った学習方法を選んで学習しています。

朝の礼拝に響く ハンドベルの美しい音色





讃美歌　200番3節「情けの深い羊飼いは」

聖書　詩篇23編「主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。」

アレセイアの一日は、毎朝の礼拝で始まります。

この日は、礼拝の中でハンドベル部が讃美演奏をしました。曲目は、讃美歌『飼い主我が主よ』です。

一人でベルを4つも持って演奏している生徒もいます。ハンドベル部は、今年の夏休みに、「平塚富士見町教会」で3年ぶりに校外での奉仕演奏を行いました。再び演奏を通して地元の皆様と交流できることを、部員一同喜んでいます。

礼拝の最後には、ハンドベル部の代表者がお祈りを奉げました。美しく響くハンドベルの音色に学園が包まれて、恵み豊かなアレセイアの一日が始まりました。

＊生徒の皆さんへ＊

あなたもハンドベルを奏でてみませんか？ハンドベル部はあなたの入部をお待ちしています。相談は顧問の先生まで。

デイリハセンターでの訪問演奏動画をご覧ください。

Information

平和学園のクリスマス

平和学園のクリスマス行事は11月18日のクリスマスツリー点灯式で始まり、続いて幼稚園、小学校、中学・高校それぞれにクリスマス礼拝が持たれました。中高は今年も三部に分かれて開催され、ハンドベル部、女声アンサンブルの礼拝奉仕により、おごそかなうちにも神様を賛美する豊かな時間となりました。

行事の一部を動画で公開しています。

法人だより

Ⅰ　会　議

・理事会　10月13日
・常任理事会　7月7日　9月8日　10月6日　11月25日　12月8日　12月23日

Ⅱ　行　事

・収穫感謝礼拝（各部）
　幼稚園　11月8日
　小学校　11月11日
　中学高校　11月17日
・クリスマスツリー点灯式（全学部）
　11月18日
・クリスマス礼拝（各部）
　幼稚園　12月14日
　小学校・中学高校　12月16日
　メッセージ
　幼稚園
　　鳴坂　明人（学園宗教主任）
　小学校
　　山口　武春　牧師（ニューホープ横浜）
　中学・高校3年
　　秋間　文子　牧師
　　（日本キリスト教団茅ヶ崎南湖教会）
　高校1年
　　田村　博　牧師
　　（日本キリスト教団茅ヶ崎教会）
　高校2年
　　中道　善次　牧師
　　（日本ホーリネス教団茅ヶ崎教会）

アレセイア湘南後援会

会長
星野　俊則

後援会は、6月に定期総会を開催し年度のスタートを切ります。7月には、高校野球の応援で球場に足を運びます。「青春は密だから…」のように選手のプレーには、応援する我々も元気をいただきます。

10月には、恒例のバスツアーを3年ぶりに、現役保護者の方々も含め皆さんと「箱根西麓・三島大吊橋とみかん狩り」のツアーに行ってまいりました。日常の忙しさからは解放されたゆったりとした時間を過ごせました。両手いっぱいのお土産を購入して楽しいひと時を過ごしました。

今後もクラブ活動の支援等を含めて、学園の後押しができるよう皆様方のご理解・ご協力をお願いする次第です。ご加入を随時受け付けております。（学園事務局まで）

平和学園・アレセイア湘南校友会

会長
倉澤　条太

昨年、校友会が発足し20年を迎えました。アレセイア湘南中学高等学校の開校に伴い、幼小中高が共に協力できる体制をとれるよう校友会が発足しました。

今や卒業生は幼小中高の垣根を越えて平和学園とのつながりを持っています。

過去、「オール平和」と称し、校友会が主体となり平和学園にかかわる学校・PTA・保護者会・同窓会の役員が一堂に会し交流を持つ会を開催してまいりました。ここ数年開催できておりませんでしたが、再び平和のもとに会する機会を創出してまいりたいと思います。

中学高校同窓会

会長
逸見　由可

今年度は定期的に役員会を行い、役員が年間の行事や運営を円滑に進められるよう、学校の協力をいただき活動しています。

11月に行われた同窓会奨学金の贈呈式では、皆さんのお志に共感し大切な役割であることを改めて実感いたしました。

また、3月には卒業証書入れの贈呈を予定しています。

今後も、中高同窓会としての役割が前進できるよう努めてまいりますので、皆様に温かく見守っていただけたら幸いです。

役員一同、卒業生の方々の思いを大切に貢献してまいります。よろしくお願いいたします。

小学校同窓会

会長
神尾　元洋

昨今の世界情勢を見て「平和とは何か」を思います。自分の意に沿わないものを排除し、自分に都合の良い状態をつくろうとすると、そこには対立が生まれます。平和学園は自らを受け入れてくれました。そして他者を受け入れることを教えられました。茅ヶ崎市内で唯一、幼小中高がある私学としてその魅力を活かし、平和の名のもとにそこに集う人々が互いに交わり、より良い学園をつくれるよう、同窓会もその歴史をつなぐ役割を担ってまいりたいと思います。

ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C178085
www.fsc.org
GREEN PRINTING JFPI P-D10010
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

※本学園は、園児・児童・生徒の安全面を考慮し、新型コロナウイルス感染対策として必要に応じて消毒・検温・マスク着用等の対策を講じています。